

## 【地域の目指すべき姿(目標)】

**大目標** 本人または家族と医療・介護関係者が、本人の人生の最終段階における意思を共有し、円滑な連携を図ることで、本人が望む場所で最期を迎えることができる。

- 小目標**
- (1) 住民が看取り等について十分に認識・理解し、最終段階における意思を話し合うことができる。
  - (2) 医療・介護関係者が本人及び家族の意思決定を支援できる。
  - (3) 医療・介護関係者等及び本人・家族間で、人生の最終段階における本人の意思に対し、必要な連携を図ることができる。

## 【実施内容(計画)】



切れ目のない医療・介護連携の体制を整えるために、住民や医療・介護関係者等から現状を把握する。

- 高齢者等実態把握調査のデータ把握
- 介護保険施設等施設入所者の看取りの状況の把握
- 医療・介護関係者へのヒアリング・アンケートの実施
- その他必要なデータ収集

住民や医療・介護関係者のニーズと課題を抽出し、解決のための具体的取組について検討する。

- 研修会の開催
- 住民への普及啓発
- データの課題分析  
など

具体的取組を踏まえて、実際にどのような効果が得られたか、取組立案時に用いたデータや住民、医療・介護関係者から聴取した意見等により評価し、課題抽出や具体的取組が妥当であるか再検討を行う。

- 住民や関係機関等へのアンケート実施
- その他必要なデータ収集

## 【進捗状況（計画案）】

4～6月

- 「看取り」関連するデータを把握
- 医療・介護関係者向けのアンケートの作成
- 高齢者施設向けのアンケートの作成

8月

- 介護保険施設等入所者の看取りの状況の把握
- 医療・介護関係者へのヒヤリングアンケートの実施

10月～3月

- 人材バンク登録医師によるACPIについての講演会
- 多職種連携を考える会の開催(テーマ:意思決定支援)

10月～12月

- 分析・課題抽出

1月～3月

- 対応策の検討・優先順位の決定
- 評価・改善

※具体的取組を実施後、今後の協議会においてご報告いたします。